



阿部 貴彦 会員

## 作品検討会

作品検討会担当副会長 仲嶺 真弥  
作品検討委員会委員長 竹中 岩仁

テーマ 「人物を中心とした作品」

- AIによる合成・補正は不可  
※ WEB 上での事前データ審査と大会当日のプリント審査の両方を行います。
- 提出期間：1月14日～1月24日
- 点数：2作品まで
- サイズ：長辺が2,000ピクセルのjpeg
- ファイル名：「ローマ字名前\_番記.jpg」  
例：nakamine\_01.jpg
- 提出：PAJ ファイル upLoder  
<https://x.gd/cQyWb>  
(右下にQRコードがあります)  
1月24日締め切り厳守です。
- 2月1日～7日の期間にweb上のデータ作品審査をGoogleフォームにて行っていただきます。審査用GoogleフォームURLはPAJのFacebookページにて後日ご案内いたします。

審査は2つのカテゴリに対して10点満点で

評価してください。

- 1、芸術点（ビジョン、インパクト等）
  - 2、技術点（構図、ライティング等）  
※詳しくはPAJのFacebookページにてご案内致します。
- 大会当日、プリントを持参して下さい。
  - プリントサイズ：六切  
※作品の裏に両面テープを貼っておいて下さい。台紙はこちらで準備致します。

### 注意事項

- 1、応募作品は、一般に公開しないようお願いいたします。
- 2、録画、写真撮影は、禁じます。
- 3、写真は個人情報です。作品の取り扱いには十分ご注意下さい。

## 画像生成 AI 部門

特別プログラムの中で、画像生成AIの作品講評を行います。テーマは自由。皆さんのオリジナルなプロンプトから生成されたユニークな画像をお待ち申し上げます

- テーマは自由
- 特別プログラムの中だけでの取り扱いになります。2日目の作品審査、またWEB審査は行いません。
- 画像データを、通常作品同様PAJ upLoaderを使ってアップロードして下さい。

- 提出期間：1月14日～1月24日
- 点数：2作品まで
- サイズ：長辺が2,000ピクセルのjpeg
- ファイル名：「ローマ字名前\_ai\_番記.jpg」  
(例)nakamine\_ai\_01.jpg お願いします。
- プリント提出の必要はありません。



PAJ upLoader

### 2月14日

- 13:00 会長挨拶・会務報告
- 13:20 メーカー・商社発表 Sony
- 13:40 メーカー・商社発表 Canon
- 14:00 メーカー・商社発表 Nikon
- 14:20 会員発表 福家 嘉孝 会員
- 14:50 ブース見学・作品投票
- 15:20 「画像生成 AI」に関する特別プログラム
  - 第1部 会員による発表 企画委員会
  - 第2部 AI作品講評・グループディスカッション
  - 第3部 基調講演 松尾 公也 氏
- 18:20 懇親会

### 2月15日

- 9:00 会員会議
- 10:00 作品検討会
- 12:00 昼食・記念写真・ブース見学
- 13:00 新人発表 吉川 昌幸 会員
- 13:30 会員発表 田賀谷 浩 会員
- 14:00 休憩・ブース見学
- 14:20 会員発表 加藤 慶子 会員
- 14:50 会員発表 渡辺 和男 会員
- 15:30 終了

表紙 生成AIによる画像：中嶋 秀磨 会員



# 第128回研究大会

Envisioning the Future

大会テーマ：～さようなら、写真館！？～

写真師の末裔よ 100年ぶりに魔術をとりもどせ！ AIを写真館ビジネスに落とし込む

日時：2024年2月14日13:00～  
15日15:30 終了

場所：東京 椿山荘 / 瑞光





### ご挨拶

会長 堀 光治

今回の大会テーマは、「さようなら写真館!？」です。

生成 AI が社会の構造を変えつつある今日、写真館の業界も大きな変化を迎えているように感じます。

前回 9 月の研究大会では、コマーシャル写真とモデルの仕事は、生成 AI によって淘汰される可能性を示唆しました。実際その後発表された、伊藤園の新製品のテレビコマーシャルやパルコのファッション広告では、実際のモデル撮影は行わず、人物から背景にいたるまで、呪文と呼ばれるプロンプトを使う生成 AI で作成されました。近い将来、これまでの写真館の業態にも、「さようなら」する日が来るのかもしれない。時代の激流に身を委ねざるを得ない時こそ、自分自身を見つめ直す必要があると思います。

写真館の仕事の本質は何か？みなさんそれぞれにお考えがあるかと思います。最近私は、よく考えるようになりました。「写真館の本質は、時間と共に失われていかざるを得ない愛すべき家族の思い出を、永遠に残すこと」と、考えるようになりました。これまでは、そのためにカメラを使

うことが前提でしたが、これからは必要がなくなるかもしれません。

翻って私たちの祖先である写真師たちが「写真館」を始めた 100 年以上前の頃を思い起こしてみましょう。幕末から明治初期の時代の写真師たちは、当時最先端の光学技術である暗箱と、化学を応用した感光材料を駆使して、写真を撮影しています。写された被写体は魂が抜かれると恐れられたように、当時の人々は写真師たちが「魔法」や「魔術」を使っているように思っていたに違いありません。

その頃の写真師の声が聞こえてきます。「我々が当時創りあげたビジネスモデルにいつまでしがみついているつもりだ！写真師はいつだって時代の最先端を闊歩してきたのだ。さあいまこそ、プロンプトという呪文を使って、100 年ぶりに魔術を取り戻せ」と。

今回、ご講演いただく松尾公也氏には、写真館を生成 AI のプラットフォームとして再定義することで見えてくるビジネスモデルの可能性についてご教授いただきます。会員のみなさんの活発な議論を期待します。



### 生成 AI は写真館の在り方をどう変えていくのか。新しい価値とチャンスを考える

松尾 公也 氏

2022 年夏、画像生成 AI の最初の波が生まれ、瞬く間に世界中に広がりました。文章を入力するだけで思い通りの写真、イラストを生み出せる、たしかに画期的なことですが、これまでの手法が無駄になるかのような危険物ではないのか……。そういう危惧を抱く方は多いかもしれません。しかし、絵画やイラストのアーティストと比較して、写真家の方々はこの動きをポジティブに捉え、新しいチャンスを見出している方も増えています。

では、そこにどういう可能性が広がっているのか。生成 AI で学習した妻の写真をもとに、新たな思い出を作り出そうとしている、おそらく世界でも類を見ない活動をしている自分の体験をもとに、生成 AI と組み合わせることで飛躍的に広がる可能性を持つ写真館というプラットフォームが、新たに切り開けるであろう展望について提案させていただきたいと思います。

#### 略歴

松尾公也（まつおこうや）

- 1982 年から 8 ビットパソコンで DTM を開始
- Mac 専門誌「MacUser」を編集長として立ち上げる
- ネットメディアを経て現在はテクノエッジ編集部シニアエディター兼コミュニティ・ストラテジスト
- GarageBand の著書 2 冊と、AI に関する共著あり
- ポッドキャスト番組「backspace.fm」のパーソナリティを担当
- 妻が遺した歌声を AI で合成して新しい曲を作り続ける超愛妻家。妻が遺した写真をもとに、生成 AI により新しい思い出を生み出している。その様子は NHK、TBS、フジテレビ、ABEMA TV、読売新聞、共同通信などで大きく取り上げられた



### 光画散撮 - 光と影を求めて -

会員発表 福家 嘉孝 会員

写大の頃からコダクローム 25 を使い、自分専用写真として保存していた。印象に残るいろいろを撮り続け、その後にはベルビア 50 を使って、ぶらりぶらり被写体探しの

散策から、勝手ネーミングの「光画散撮」。SNS 時代になり、主に iPhone 撮影。日々のアップは自己鍛錬の場。その反応が次の糧になっている！



### 地域密着のあったか写真館になる！はずだった

新人発表 吉川 昌幸 会員

北陸、福井県のさらに田舎の方で「町の写真館」の二代目をやっております。「町の写真館」なんだから地域密着で撮影関係ならなんでもやります的なお店にしよう！と思って

帰ってきましたが、約 20 年経ってもそんな感じになってない。思ってたのとは違うけど、なんだかんだで楽しくお仕事させてもらってる話をさせていただきます。



### 写真館業界に特化したインボイス対策

会員発表 田賀谷 浩 会員

インボイス制度が始まって数ヶ月経ちますが、未だに馴染まない、面倒になった、対応はこれで大丈夫なんだろうか・・・など、様々な思いが錯綜していることと思います。写真

館にまつわる業務内容で必要と思われるインボイス時代の消費税対策をお伝えしたいと思います。



### 写真で次元上昇！

会員発表 加藤 慶子 会員

東京都江東区の写真館アトリエベルフォトをベースに活躍する次元上昇フォトグラファー加藤慶子。自己表現としてのプロフィールや

ポートレートに AI の背景を使用したらもっとワクワクする写真になるのでは？というチャレンジのレポート。



### 23 歳で写真館を継いで

会員発表 渡辺 和男 会員

昭和 57 年。先代が 51 歳で急逝し大学在学のまま写真館を継いで以後、自分自身がどう行動し、何を成そうと考えてきたかを失敗

談や反省する点などを含めて楽しくお話できればと考えています。



### SONY

世界初のグローバルシャッター搭載 α 9 III のご紹介



### CANON

EOS R シリーズと RF レンズのご紹介



### NIKON

NIKKOR Z 135mm f/1.8 S P plena のご紹介

### 参加料

(懇親パーティ含む 2 食付き)

PAJ メンバー	年会費から充当
会員同伴者	20,000
シニア会員	30,000
会友	30,000
オブザーバー	50,000
メーカー・商社	30,000
報道	30,000
展示ブース (先着 5 ブース)	20,000